令和７年度出雲市自然体験・交流プログラム　アンケート結果（概要）

（１）調査対象

出雲市内外の小学３年生～６年生

（２）標本数

40 名（出雲市内 20 名、出雲市外 20 名）

		学年				合計
		３年生	４年生	５年生	６年生	
出雲市内		10	6	2	2	20
	男	4	3	1	1	9
	女	6	3	1	1	11
出雲市外		13	5	1	1	20
	男	7	2	0	1	10
	女	6	3	1	0	10
合計		23	11	3	3	40

（３）回収数

■事前アンケート

40 名（回収率 100.0%）

■意見交換

36 名（回収率 90.0%：欠席者 3 名、体調不良による不参加者 1 名）

■事後アンケート

38 名（回収率 95.0%：出雲市内 20 名、出雲市外 18 名）

（４）調査方法

Web による回答／意見交換

（５）調査時期

■事前アンケート

令和８年３月１４日～令和８年３月２４日

■意見交換

令和８年３月２８日

■事後アンケート

令和８年３月３０日～令和８年３月３１日

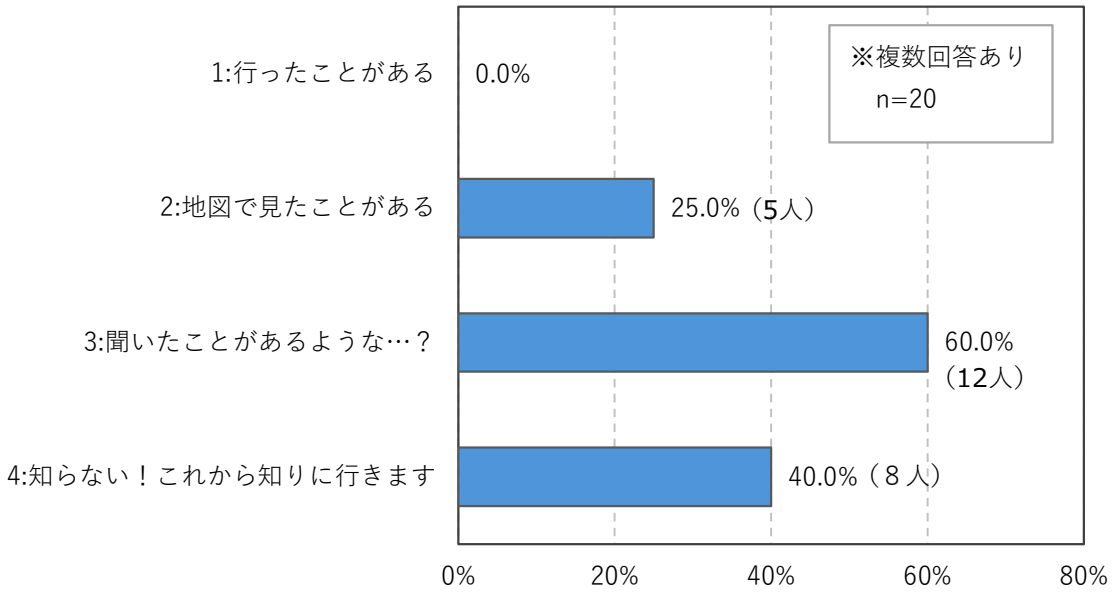
１．事前アンケート

① 出雲を知っていますか？（市外のこどものみ回答）

・ 「聞いたことがあるような…？」が 60.0%（12 名）で最も多く、続いて「知らない！これから知りに行きます」が 40.0%（8 名）となっている。

・「行ったことがある」は 0 名であり、出発時点で出雲は首都圏からの参加者にとって、ほぼ未知の土地であったといえる。

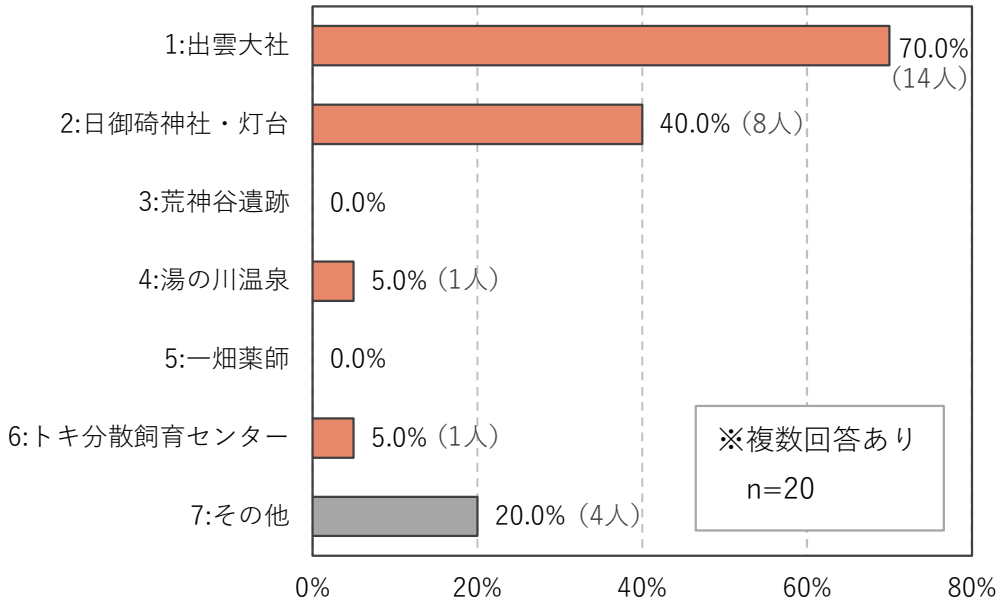
・「未知の土地での新鮮な体験を提供する」という、本事業の企画の意図に合致した参加者の構成であったと評価できる。



② あなたがおススメしたい観光スポットはどこですか（市内のこどものみ回答）

・「出雲大社」が 70.0%（14 名）で最も多く、次いで「日御碕神社・灯台」が 40.0%（8 名）と、オススメ先はこの 2 箇所に集中している。

・「荒神谷遺跡」「一畑薬師」と回答したこどもは 0 名、「湯の川温泉」「トキ分散飼育センター」もそれぞれ 5.0%（1 名）にとどまっている。

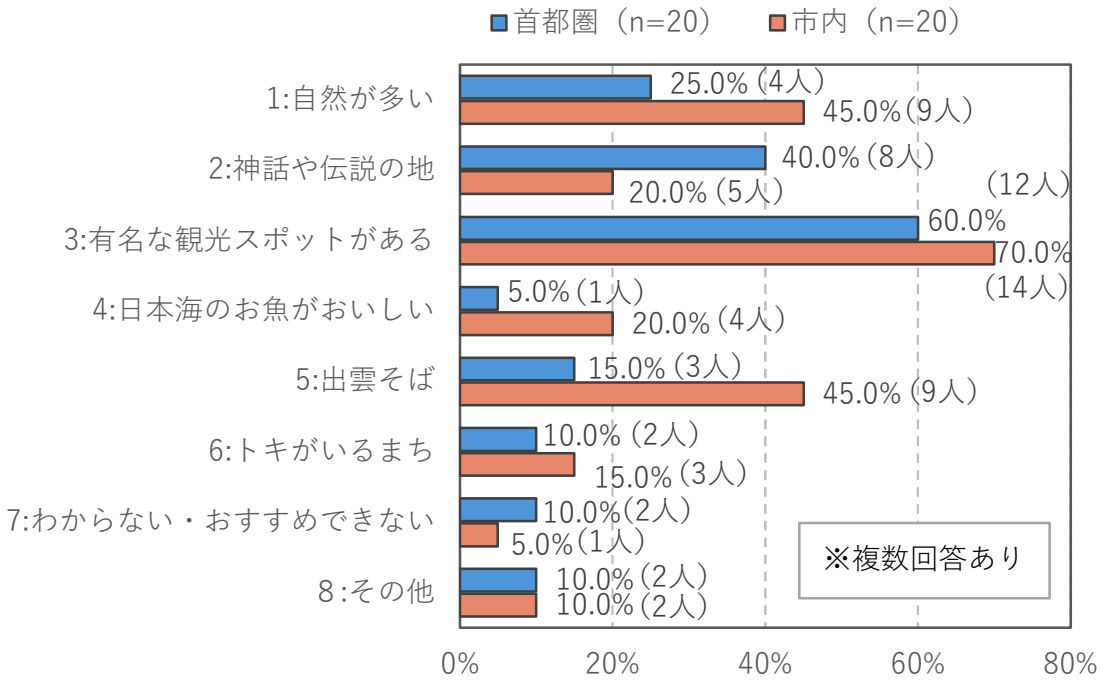


③ 出雲と聞いて、どんなイメージがわきますか？

・「有名な観光スポットがある」は市外 60.0%・市内 70.0%でいずれも最も多く、どちらのこどもも出雲を観光地として認識している点は共通であった。

・「神話や伝説の地」は市外 40.0%（8 名）・市内 20.0%（4 名）と市外のほうが高い一方で、「自然が多い」は市内 45.0%・市外 25.0%、「出雲そば」は市内 45.0%・市外 15.0%と、市内のこどもは身近な生活環境としての側面を多く挙げている。

・ 市内のこどもは「日常の風景」として、市外のこどもは「観光・神話の対象」として捉える傾向があり、生活環境の違いがこうしたイメージの形成に反映されていると考えられる。

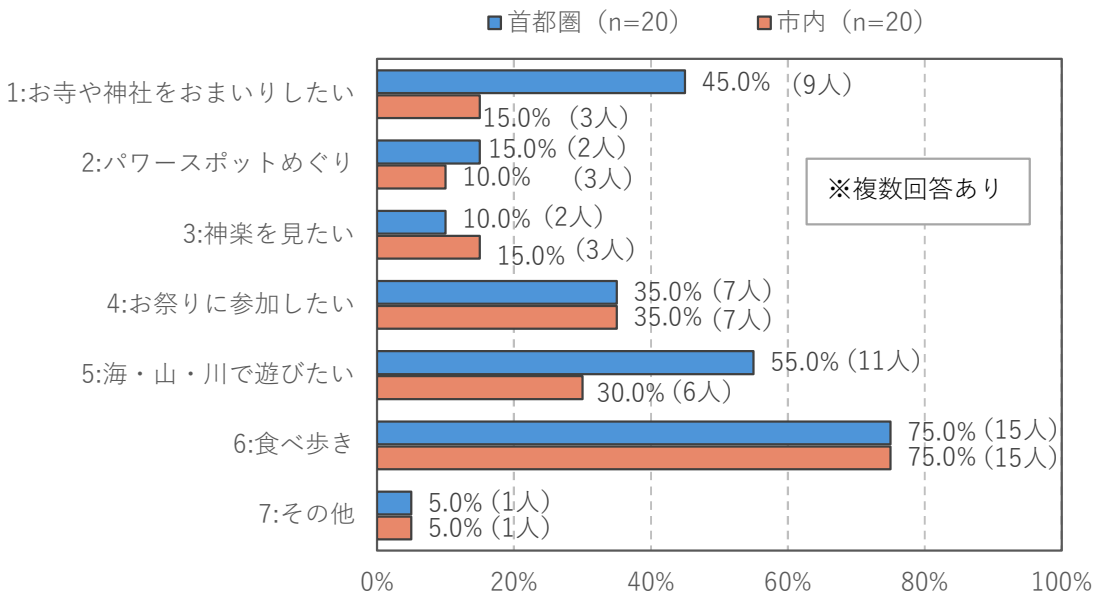


④ 出雲で体験したことはありますか？

・「食べ歩き」は市外・市内ともに 75.0%で最も多く、食を通じた地域体験への期待は共通であった。

・「お寺や神社をおまいりしたい」は市外 45.0%に対し市内 15.0%と 30 ポイント差、「海・山・川で遊びたい」は市外 55.0%に対し市内 30.0%と 25 ポイント差で、自然・歴史・文化の体験への期待は市外が市内を大きく上回っている。

・市内のこどもにとっては既に身近な存在である自然や寺社が、市外のこどもにとっては非日常の体験ができる対象として強く意識されていると言える。

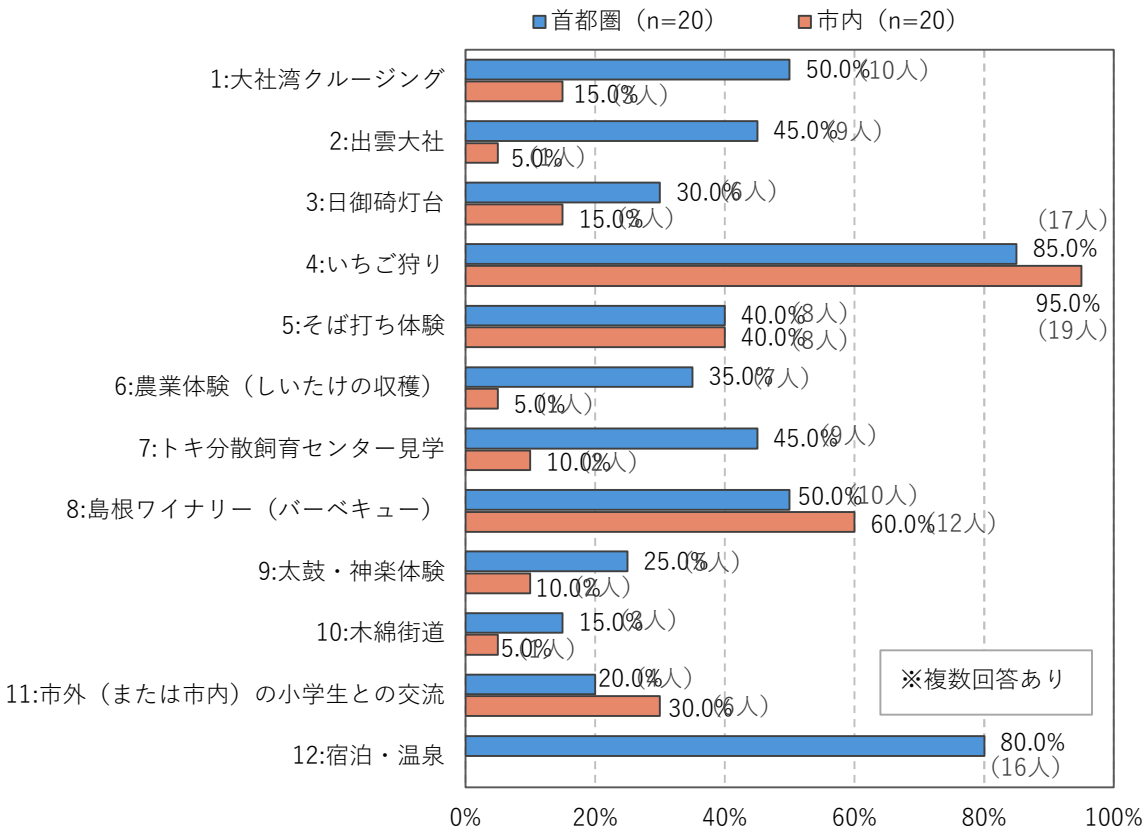


⑤ 今回のツアー（自然体験・交流プログラム）で楽しみにしているイベントは何ですか？

・「いちご狩り」は市外 85.0%・市内 95.0%、「島根ワイナリー（バーベキュー）」は市外 50.0%・市内 60.0%と、食べ物・食事に関する項目はどちらも高い期待を集めていた。

・一方、「出雲大社」は市外 45.0%・市内 5.0%、「日御碕灯台」は市外 30.0%・市内 15.0%、「太鼓・神楽体験」は市外 25.0%・市内 10.0%、「トキ分散飼育センター見学」は市外 45.0%・市内 10.0%と、出雲を象徴する自然・歴史・文化に関する項目では市外が市内を大きく上回っている。

・市内のこどもにとっては「身近すぎて自分が体験したいとまでは思えない」資源について、市外のこどもは強い興味を示しており、市内のこども地元の資源を相対的に低く評価し、市外の児童は出雲の資源に新鮮な驚きや魅力を感じていると考えられる。



２．意見交換での意見

学年や出雲市内外参加の比率に配慮した６グループ（A～F グループ）に分け、プログラム内容について楽しかったこと及びその理由について、意見交換を行った。

・Ａグループ（５～６年生 6 名：出雲市内 2 名、出雲市外 4 名）

出雲市内
・みんな話しかけてくれて嬉しかったし、お話するのが楽しかった。最初はできか不安だったけど、友だちがたくさんできてすごく嬉しかったから。 ・前に行ったときは上まで登れなかったから登れて良かったし、登るまでの階段も楽しかった。景色がきれいだった。 ・肉がすごくおいしかったし、友だちとワイワイしながら焼いて食べれて楽しかった。 ・1 日目は初めて会う人だらけだったからとても緊張しました。でも 2 日目は自然と仲良くなれたので嬉しかったし、ほっとしました。 ・いちご狩りは「これとか大きいし、美味しそうじゃない？」などを話して楽しかったです。 ・バスや船では、みんなと話しながら着くまで楽しめました。 ・1 位バーベキュー、2 位いちご狩り、3 位和太鼓、4 位日御碕灯台、5 位バス、6 位船、7 位しいたけ収穫、8 位出雲そば…もちろん?！全部…楽しかった ・日御碕灯台の頂上から見た景色がきれいだったから 3 位。 ・自分でそばを最初から打ったり切ったりしたのが難しかったけど、なれたら楽しかったから。 ・いちご狩りは、自分でいちごをとって食べたら美味しかったし、友だちができたから。 ・自分でお肉やニンジンとかが焼けたし、焼くのが楽しかったから。 ・いちご狩りは、たくさんのいちごを食べることができて楽しかったから。 ・バーベキューはしまね和牛を焼いて食べることができたから。 ・クルージングは水しぶきが当たったり、日本海を走ることができ、気持ちよかったから。 ・日御碕灯台は上からの眺めがきれいだったから。
出雲市外
・日本一がいっぱいあって興味を持った。昔のことを知れて楽しかった（出雲大社） ・焼くのが楽しかった。和牛が柔らかかった。肉があまり好きじゃなかったけど、しまね和牛を食べて少し好きになった。 ・露天風呂が気持ちよかった。自然と笑顔になる温泉だった ・40 分の中でいちごがたくさん食べれて良かったし、56 個食べれておいしかったから 1 位にした。 ・肉より野菜の方が多かったけど、肉が旨くて自分で焼いた肉は美味しかった。 ・飛行機に乗って出雲に行く途中に、上がったり下がったりしてアトラクションに乗った感じで面白かった。

・Ｂグループ（４年生男子５名：出雲市内３名、出雲市外２名）

出雲市内
・みんなとたくさん笑ったりしたからです。 ・38 個たくさん食べたからです。 ・降りるときキャーキャー言って、とても恐怖だったからです。 ・大きなしいたけをたくさん見つけたからです。 ・友だちと仲良く遊んだり、買い物や、焼いたり、楽しかったです！楽しかった～ ・バーベキューでは、みんなで肉や野菜を焼いたりして、笑いながら楽しく食べれたこと。 ・いちご狩りでは、2 種類全部のいちごが食べれて嬉しかった。 ・IZUMO ツアーでは、私は出雲だけど、出雲の知らないこともたくさんあって、東京神奈川の人たくさんの友だちができて楽しい 3 日間でした。
出雲市外
・バーベキューでは、いろいろな友だちとおいしいお肉が食べられてよかったです。 ・そばうちでは、作るのは大変でしたけど、楽しくおいしく食べれました。 ・船では空気が気持ちよく、みんなで初めていっぱい楽しめたのでよかったです。 ・お泊まりでは、みんなとすごくなかよくなれ、すごく楽しかったです。温泉もすごく楽しかったです。 ・いちご狩りでは、私は最初あまりいちごが好きではありませんでしたけど、初めてすごくおいしく食べれたので、そこが楽しかったです。 ・灯台では、登るのもすごく楽しくて、そこも思い出です。そして頂上では風が気持ちよくてすごく楽しかったです。 ・友だちと仲が深められて良かったです。 ・いちご狩りにあまり行ったことがなかったけど、仲良くなった友だちと一緒にイチゴ狩りができて楽しかった。 ・最初そばうちもやったことがなく、うまくできるか不安だったけど、やってみるとすごく楽しく、その中でも友だちができてすごく楽しかった。 ・みんなで同じ場所で、最初はみんなの気まずかった雰囲気がどんどん楽しくなってきて、逆にうるさくなっちゃったけど楽しかった。知らない人たちともいっぱい話すことができたから。 ・163 段階段を上って疲れたけど、きれいな景色が灯台から見えてきれいだと思った。 ・楽しかった～

・Ｃグループ（４年生女子６名：出雲市内４名、出雲市外２名）

出雲市内
・全て楽しかったから。 ・船に乗っているとき、水が当たって気持ちよかった。 ・トキがかわいかった。飼ってみたかった。 ・日御碕灯台が 163 段もあってびっくりした。 ・いちご狩りが楽しかった。 ・バーベキューはおなかいっぱいだったけど楽しかった。 ・初めてだったから採って食べるのが楽しかった。 ・バーベキューは楽しみたっだから、焼くのが楽しかった。 ・灯台の高さが 40m以上あってすごいと思った。 ・乗っているときに風が当たって気持ちよかったです。 ・そばうち体験で自分で作ったそばが美味しかった。 ・トキは何を食べているのか、どんな種類があるのかよくわかった。 ・和太鼓はすごい体験だったと思う。 ・しいたけを家に持って帰ったらお母さんが喜んでくれた。 ・いちご狩りがやりたかったからです。 ・バーベキューがお肉が美味しいからです。理由はバーベキューがやった時がなかったからです ・出雲大社は行ったことはあるけど、また行ってみたいと思いました。 ・お弁当を作ってみたいです（そばうち体験） ・一畑バスに乗って楽しくできていいと思いました。 ・今日、神楽とかを見てやりたいと思いました。 ・そばうち体験やしいたけ狩りをやって、美味しいと思いました。
出雲市外
・私が一番心に残っていることは出雲大社です。なぜなら、大国主や歴史の人物の説明をしてくれて、出雲大社をどう楽しむか、どこに何があるのかを教えてくれました。どうやってお辞儀や出雲大社での作法を学びつつ、出雲大社を楽しむことができました。お守りが、なんと千円もしました。けれど高くて運がつくのなら、高い値段でも買いたくなります。昔「、どのような建物があったのかを説明してくれて、どういう建て方をしたのかを詳しく説明してれたので、出雲大社が一番楽しかったです。 ・船に乗っているときに白い泡がたくさん飛んできてそれを触ってみたかった。 ・みんなと楽しくお泊まりができてよかった。 ・みんなと楽しくお肉を焼けた。 ・いちご狩りで、大きいものや小さいものを収穫するのが楽しかった。 ・和太鼓で、私と同い年くらいの子がすごい演奏をしていてすごかった。 ・私が 3 日間で心に残ったのは、日御碕灯台といちご狩り、バーベキューです。 ・灯台は 163 段で疲れたけど、上ったあとすごい絶景ですごく楽しかったです。 ・いちご狩りでは目標で 50 個で、友だちと 50 個食べれて嬉しかったです。 ・バーベキューでは、お肉を初めて焼くときドキドキしたけど、自分で焼いて食べたらすごく美味しかったです。

・Ｄグループ（３年生 5 名：出雲市内 2 名、出雲市外 3 名）

出雲市内
・美味しかったし、楽しかったから。 ・それぞれにしかない楽しさがあったから。
出雲市外
・いちご狩りで、大きくて旨いのがいっぱいあって楽しかった。 ・大きいしいたけが採れた。 ・バーベキューの肉が旨かった。 ・温泉が気持ちよかった。 ・どれも普段経験できないものなので、思いっきり楽しみました。 ・神楽、演じている人がすごくて、尊敬して、衣装やヤマタノオロチの着ぐるみがすごくて着たたから。 ・バーベキュー、美味しくて、自分で焼いて美味しかったから。 ・温泉、気持ちよくて露天風呂から月が見えたから。

・Ｅグループ（３年生７名：出雲市内２名、出雲市外５名）

出雲市内
・よつぼし、すずなどのイチゴを食べました。ずずがあまり人気ではなくよつぼしの方が人気だったけど、私はすずが一番好きでした。 ・日本や平田になかなかいないトキのいる所には、トキの仲間もいました。トキの仲間はトキにとても似ていてびっくりしました。 ・小さい船だったけど、みんな入ってびっくりしました。窓の外から顔を出して風に当たって寝ていたら、顔に潮水がとても当たって気持ちよかったです。 ・友だちとはしゃいだり、騒いだりして食べるしまね和牛はとても美味しかったです。一人で静かにしまね和牛を食べるよりも何倍も美味しかったです。 ・神楽は怖かったけど、長かったけど、ちゃんとわかるように演技していて良かったです。 ・おいしかった。楽しかった。
出雲市外
・楽しかったことは、飛行機、船、日本海、いちご狩り、しいたけ収穫、バーベキュー、温泉、お泊まり、友だちです。 ・一番楽しかったのは、いちご狩り、お泊まり、バーベキューです。 ・いちご狩りは、甘くて大きいのがたくさんあっておいしかったからです。45 個食べた。 ・お泊まりは友だちになれて楽しかったからです。思い出になりました。 ・バーベキューは、友だちと仲良く食べれておいしかったし楽しかったです。 ・2 泊 3 日たくさんの思い出が作れてよかったです。出雲ありがとう！また来たいです！ ・自分で肉を焼いて食べたからおいしかったです。 ・水がかかって楽しかった。 ・一番楽しかったのは友だちです。理由は一番仲の良い友だちができて楽しかったからです。 ・2 番目はバーベキューです。理由はじゃんけんで勝ったり友だちと仲が深まったからです。 ・3 番目に楽しかったのはそばうち体験です。理由は、そばを切るときに優しく教えてくれたからです。 ・4 番目は日御碕です。理由は上で知らない人に手を振ったら、振り返してくれたからです。 ・特に友だちに関わることが楽しかったです。 ・おいしかった。じゃんけんに負けたらグレープジュース飲むのが楽しかった。 ・怖かった。（日御碕灯台） ・友だちと話したり、お風呂や布団で寝るのが気持ちよかった。 ・難しかったけど、勉強になった（そばうち体験） ・新しい友だちや、少し話したりできた。 ・いちごの簡単な取り方を教えてもらって勉強になった。

・Ｆグループ（３年生７名：出雲市内３名、出雲市外４名）

出雲市内
・一番楽しかったのは灯台です。高いところは怖かったけど、屋上まで行けて楽しいと思いました。 ・高ところは怖かったけど、初めて登ってみて楽しかったです。（日御碕灯台） ・船に初めて乗ってみて、風やいろいろな海藻が見れて嬉しかった。 ・いちご狩りは甘くて美味しかったです。 ・バーベキューの時に、自分だけで焼くのが楽しかったです。 ・初めてそばを打ったけど、こんなに難しいのが知れた。 ・友だちは最初は誰もいなかったけど、友だちができて嬉しかった。 ・全部楽しかったです。 ・出雲大社の時に、いろいろな人とできて良かったです。親がいない中、都会の人やいろいろな人がいて友だちもたくさんできて嬉しかったです。 ・全部楽しかった！なぜなら…船は友だちと波に触れられたから。出雲大社は友だちとお揃いのお守りを買えたし、神楽は着物が着れて良かったし、和太鼓はみんなでたたけて良かったし、いちご狩りは友だちと一緒にいっぱい食べられたから良かったし、しいたけ収穫はおかあさんが喜んでくれたから良かったし、花の郷は花がきれいで良かったし、トキはかわいかったから良かったし、そばうち体験はそばが打てて良かったし、バーベキューは美味しかったから良かったし、交流は友だちができたから良かった。
出雲市外
・灯台登った！楽しかった！ ・和太鼓の音がめっちゃ大きかった！楽しかった！ ・バーベキューも楽しかった！焼くのが楽しかった！おみやげをもらった！ ・温泉も行ったよ～気持ちよかった！ ・ホテルに泊まった！楽しかった！トランプもやった！ ・たくさん友だちができた！ ・いちご狩り→美味しかった。 ・出雲大社→友だちとお守りをお揃いにした。 ・船→前の方に乗って、泡波にめっちゃ触れた。 ・〇したの全部一番 ・友だちができた。一緒に話せました。 ・みんなと寝れて楽しかった。 ・お守りが買えて嬉しかった。 ・神楽の着物が着れて楽しかった。

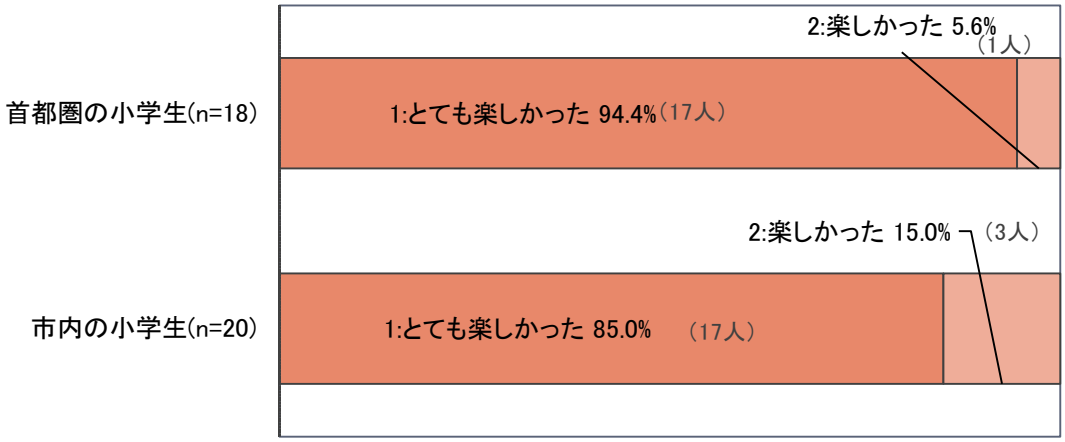
3．事後アンケート

① 今回の IZUMO ツアー（自然体験・交流プログラム）は楽しかったですか？

・市外のこどもは「とても楽しかった」が 94.4%（17 名）、「楽しかった」が 5.6%（1 名）で、いずれも肯定的な回答が 100%となっている。

・市内のこどもも「とても楽しかった」が 85.0%（17 名）、「楽しかった」が 15.0%（3 名）となっており、市外と同様に肯定的な回答が 100%となっている。

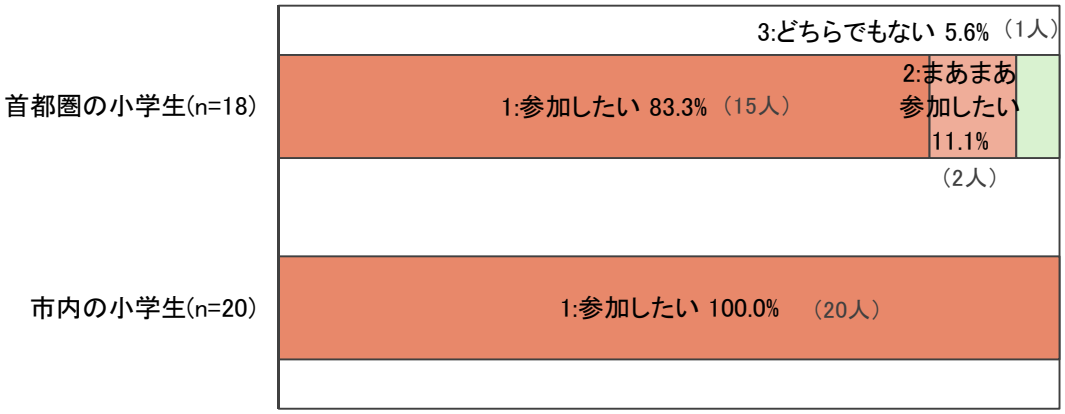
・事前アンケートにおける期待値に大きな差があったにもかかわらず、事後の満足度は市外・市内のどちらも 100%となっており、自然体験・交流プログラムの内容と運営が、参加したこどもの事前の期待や属性の違いを越えて満足を得られる設計であったと評価できる。



② また参加したいですか？

・市内のこどもは「参加したい」が 100%（20 名）、市外のこどもは「参加したい」83.3%（15 名）と「まあまあ参加したい」11.1%（2 名）を合わせて 94.4%が肯定的な回答であった。

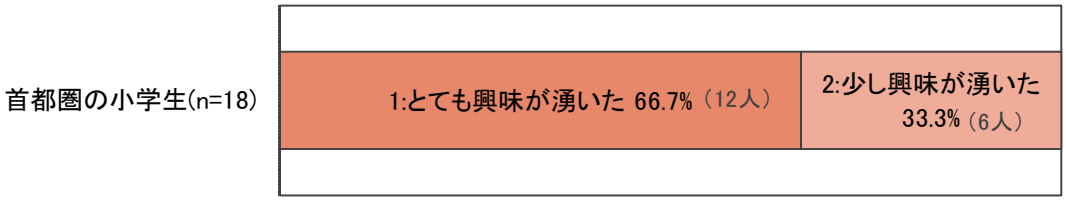
・市内のこどもの参加意向が市外のこどもより高い背景として、地理的な参加の容易さに加え、市内のこどもにとっては地元での友だちづくりや非日常体験の機会が継続的に得ることができるものとして捉えられているためであると考えられる。



③ 出雲への興味はどう変わりましたか？（市外のこどものみ回答）

・「とても興味がわいた」が 66.7%（12 名）、「少し興味がわいた」が 33.3%（6 名）で、参加したこども全員が興味の高まりを示している。

・出発時点では「ほぼ未知の土地」であった出雲に対して、全員が興味を高めたことは、本事業の目的の一つである「将来的な関係人口・交流人口の創出」につながる素地を形成する成果が得られたと言える。

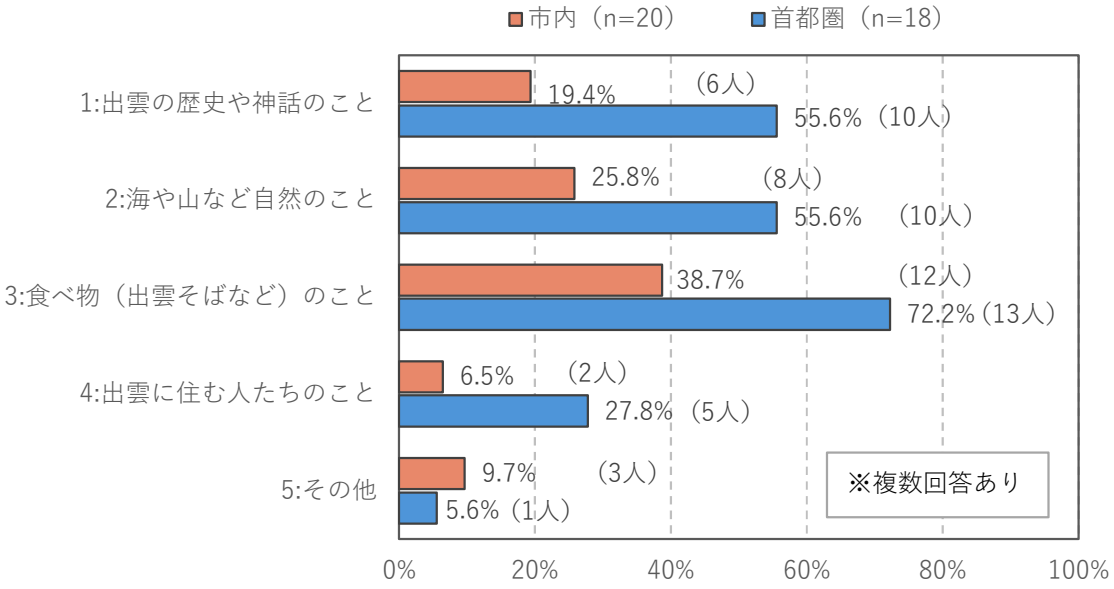


④ 出雲について心にのこったこと

・市外・市内のどちらも「食べ物（出雲そばなど）」が最多（市外 72.2%、市内 38.7%）となっており、食事を通じた具体的かつ感覚的な体験が最も記憶に残りやすかったものと考えられる。

・「出雲の歴史や神話」「海や山など自然」も市外では 55.6%と高くなっており、ガイド付き解説（出雲大社かたりべガイドの会、日本遺産「日が沈む聖地出雲」のストーリー）を通じた、自然・歴史・文化への理解を深める体験がこどもの印象に残ったものと考えられる。

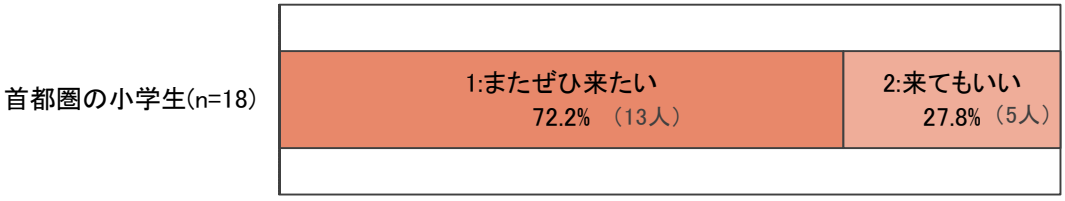
・「出雲に住む人たち」は市外・市内のどちらも比較的低い割合にとどまっており、ガイドや地域住民の方などとの人的な交流の印象付けには改善の余地があるものと思われる。



⑤ 出雲にまたきてみたいと思いますか（市外のこどものみ回答）

・「また ぜひきたい」が 72.2%（13 名）、「きてもいい」が 27.8%（5 名）で、全員が再訪の意向を示している。

・出発時点では「ほぼ未知の土地」であった出雲に対して、3 日間の体験を経て全員が再訪の意向を持つに至ったことは、将来的な交流人口の増加につなげるという本事業の目的に直接寄与する成果が得られたと言える。



⑥　（それぞれの自然体験・活動について）楽しかったですか？

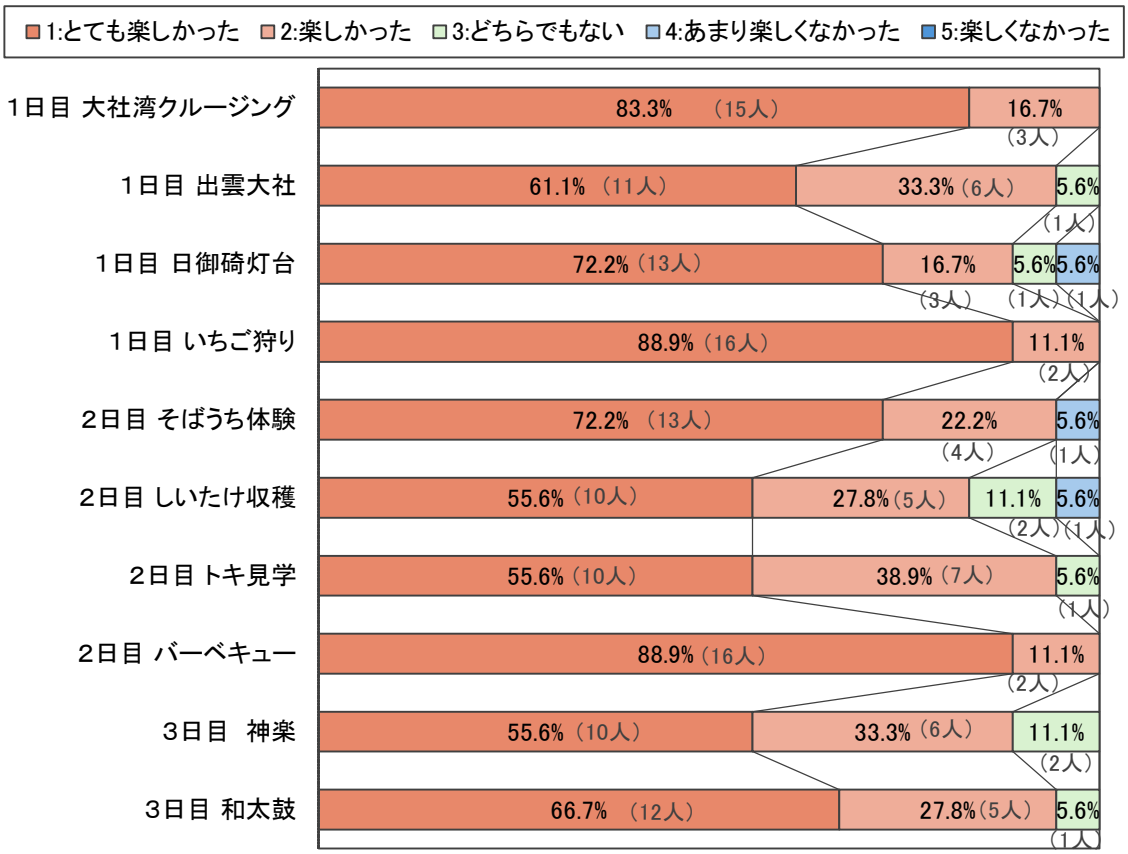
＜市外のこどもの回答＞

・全ての項目において「楽しかった」の割合（「とても楽しかった」と「楽しかった」の合計）が 800%を超えており、「大社湾クルージング」、「いちご狩り」、「バーベキュー」は 100%となっている。

・最も低い「しいたけ収穫」も 83.3%（15 名）と高水準であり、いずれの体験も高い満足が得られている。

・「とても楽しかった」の割合が高い項目は、「いちご狩り」、「バーベキュー」88.9%、「大社湾クルージング」83.3%、「日御碕灯台」、「そばうち体験」72.2%など、食事や自然に関する体験で特に高くなっており、出雲の食の体験や、初めて触れる地域固有の資源が市外のこどもに強い印象を残したものと考えられる。

自然体験・活動について　※首都圏の小学生の回答　（n=18）

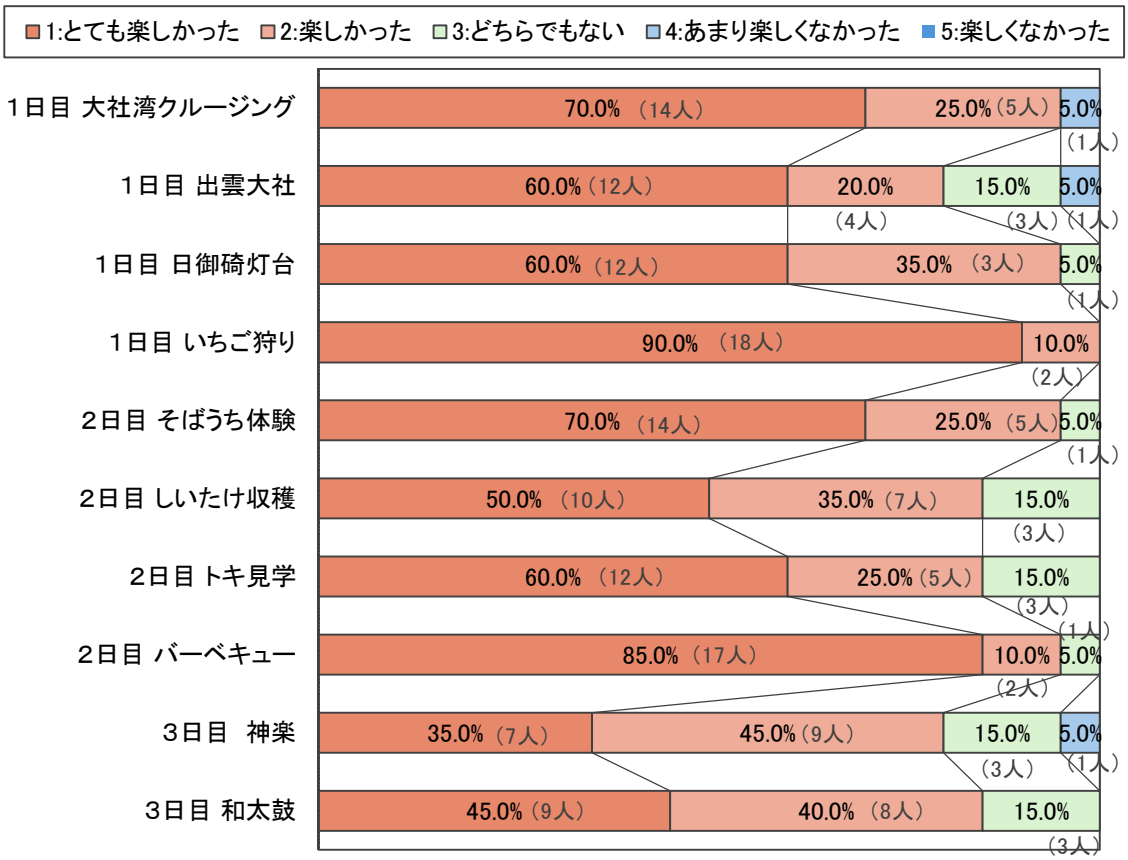


＜市内のこどもの回答＞

・全ての項目で「とても楽しかった」「楽しかった」の合計が 80～100%に達しており、満足度の市外のこどもと大差ない結果となっている。

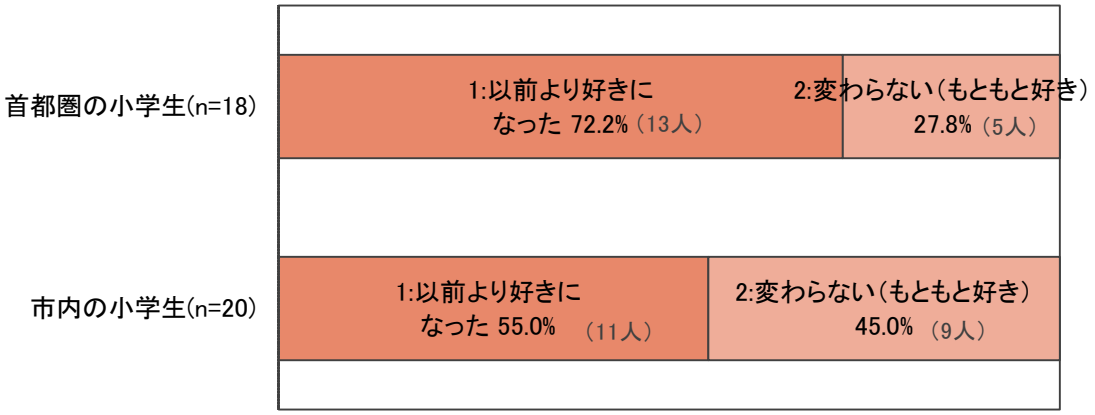
・「とても楽しかった」の割合が高い項目は、「いちご狩り」90.0%、「バーベキュー」85.0%、「大社湾クルージング」、「そばうち体験」70.0%など、市外と同様に食事や自然に関する体験で特に高くなっている。

自然体験・活動について　※市内の小学生の回答　（n=20）



⑦ 自然の中で活動することへの気持ちは変わりましたか？

・「以前より好きになった」の割合は、市外 72.2%（13 名）、市内 55.0%（11 名）であり、どちらも自然活動への関心が高まる方向に変化している。

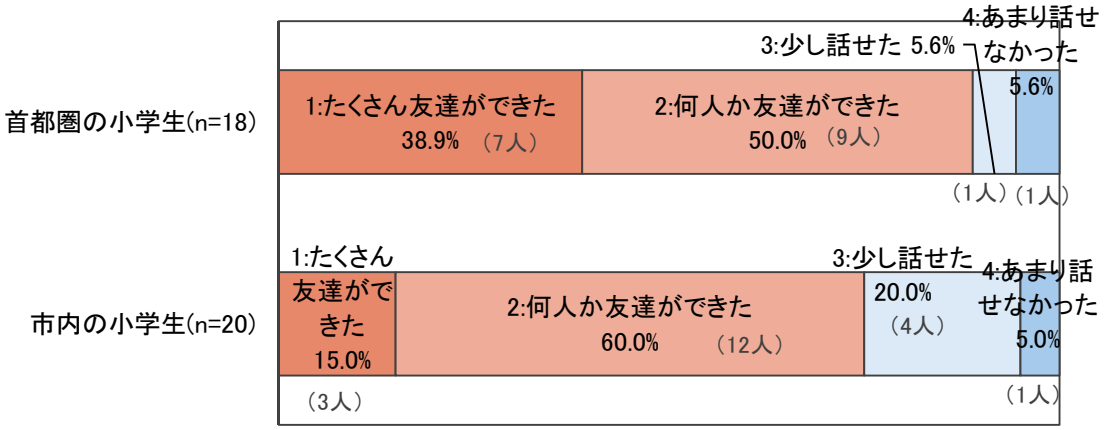


⑧ 出雲（または市外）の小学生と友だちになれましたか？

・「たくさん友だちができた」は、市外 38.9%（7 名）、市内 15.0%（3 名）と市外が高く、慣れない環境で積極的に関係を築こうとする心理が働いたものと考えられる。

・「たくさん友だちができた」と「何人か友だちができた」の合計は、市外 88.9%、市内 75.0%に達しており、市外が市内に比べて高くなっている。

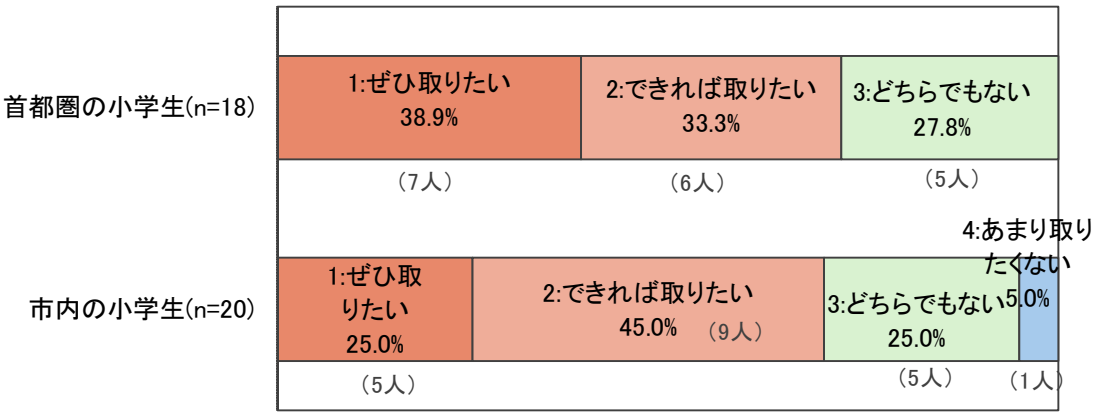
・「あまり話せなかった」と回答したこどもは、市外・市内のどちらも 1 名にとどまっており、混成による班編成が、ほぼすべての参加者にとって、友だち関係構築の機会として機能していたものと考えられる。



⑨　これからも連絡をとりたいですか？

・「ぜひとりたい」と「できればとりたい」の合計は、市外 72.2%（13 名）、市内 70.0%（14 名）でほぼ同水準であった。

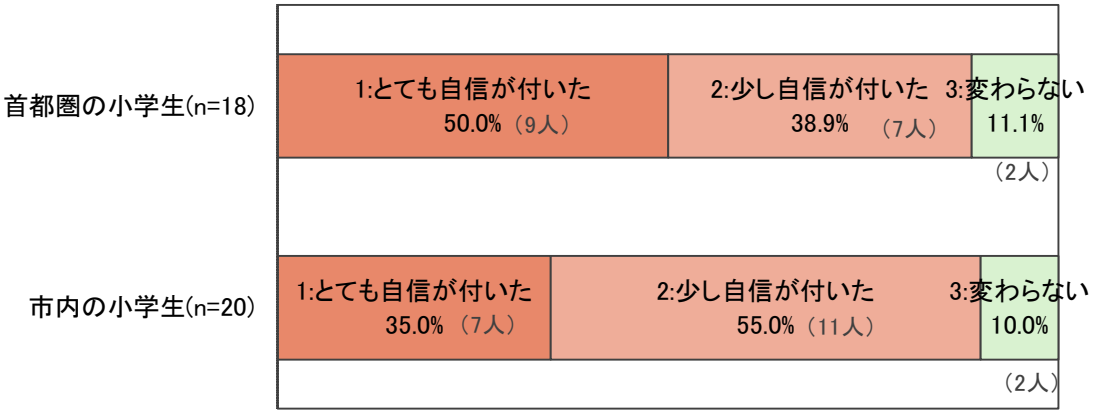
・これからも連絡をとりたい意向が市外・市内のどちらも 7 割を超えており、3 日間にわたり一緒に同じ体験をしたことによって形成された関係性が一過性で終わらず、継続が望まれる水準にまで深まっていたものと考えられる。



⑩　仲良くなる自身はつきましたか？

・「とても自信がついた」は市外 50.0%（9 名）、市内 35.0%（7 名）と市外が高く、「少し自信がついた」は市内 55.0%（11 名）、市外 38.9%（7 名）と市内が高い傾向となった。

・「とても自身がついた」と「少し自信がついた」の合計は市外 88.9%（16 名）、市内 90.0%（18 名）でほぼ同水準であり、9 割のこどもが他者と仲良くなる自信を得たことは、本事業の目的である将来的な交流人口の増加につなげることの達成を示す重要な指標となっている。



５．実施結果のまとめ

（１）事業評価の視点、評価軸及び評価項目

本業務の目的を踏まえ、事業評価の視点、評価軸及び評価項目を以下のとおり設定した。

事業評価の視点	評価軸	評価項目
①体験・交流することに楽しさを感じてもらう、関係人口・交流人口拡大の素地を形成する	事業全体の満足度	事後アンケートで「楽しかった」と答えた割合 「また参加したい」と答えた割合
②出雲市のこどもに、地域資源の価値を再認識させる	体験プログラム実施前の期待値と、参加後の満足度とのギャップ	事前アンケートにおける期待→事後アンケートで「楽しかった」と答えた割合
③体験格差のある首都圏のこどもに、出雲の魅力を伝える	興味の変化と再訪意向	出雲への興味が変化した割合 出雲にまた来たいと答えた割合 自然活動への気持ちの変化
④出雲市と首都圏のこどもが共通体験を通じて交流する	友だち形成・自信	友だちができた割合 連絡をとりたい割合 仲良くなる自信

（２）評価結果

それぞれの視点ごとの事業評価の結果は次のとおりである。

① 体験・交流することに楽しさを感じてもらう

・体験プログラムが「楽しかった」と答えた割合：100%（n=38）

・体験プログラムに「また参加したい」と答えた割合（参加したい＋まあまあ参加したい）：97.4%（n=38）

② 出雲市のこどもに、地域資源の価値を再認識させる

・事前アンケートにおける期待値が 10～15%にとどまっていた出雲大社、日御碕灯台太鼓・神楽体験、トキ分散飼育センター見学、大社湾クルージングのいずれも、事後アンケートにおいて「楽しかった」と答えた割合が 80～95%に達している。

③ 体験格差のある首都圏のこどもに、出雲の魅力を伝える

・出雲への興味がわいた：100%（n=18／とても 66.7%＋少し 33.3%）

・また出雲にきたい：100%（n=18／また ぜひきたい 72.2%＋きてもいい 27.8%）

・自然の中の活動への気持ち：以前より好きになった：市内 55.0%、市外 72.2%

※ 「変わらない（もともと好き）」は市内 45.0%、市外 27.8%であり、市内のこど

もは「自然の中の活動」がもともと好きであることに留意する必要あり

④ 出雲市と首都圏のこどもが共通体験を通じて交流する

・友だちができた割合（たくさん＋何人か）：市内 75.0%、市外 88.9%
・仲良くなる自信がついた割合（とても＋少し）：市内 90.0%、市外 88.9%
・連絡をとりたい割合（ぜひ＋できれば）：市内 70.0%／市外 72.2%

また、事後アンケートの自由記述から、以下の示唆が得られた。

・出雲市のこどもにおいて、家族で木綿街道を再訪するなど、「身近すぎて気付いていなかった魅力の発見」が具体的な行動変容に結びついた事例がみられた。
・体験プログラムを通じて、それまで苦手としてことを克服した事例がみられた。
（しいたけ嫌い→しいたけ狩りを通じて好きになった、
肉があまり好きではない→しまね和牛を食べて好きになったなど）
・市内と首都圏のこどもの相互間で、関係構築に成功した事例が複数みられた。
（お揃いのお守りを購入した、
体験プログラムに参加しなければ出会わなかった子と友だちになれたなど）
・首都圏のこどもにおいては、出雲の歴史や文化についての知識や理解が得られており、再訪意向の動機の一つになっている。

（３）評価結果を踏まえた考察

（２）の評価結果によると、本事業の実施により明らかになった事柄は次の 3 点に整理することができる。

① 出雲市のこどもは、地元の自然・歴史・文化資源が「身近すぎる」がゆえに、その価値を十分に認識・評価していない。

・事前アンケートにおいて、市内のこどもが「体験プログラムで楽しみなイベント」として選んだのは、出雲大社（1 名、5%）、日御碕灯台（3 名、15%）、太鼓・神楽体験（2 名、10%）、トキ分散飼育センター見学（2 名、10%）にとなっていた。
・一方、事前アンケートにおいて、市内のこどもが「オススメしたい観光スポット」として選んだのは、出雲大社（14 名、70%）、日御碕灯台（8 名、40%）となっており、出雲の自然・歴史・文化資源が他者へ推奨する価値を有していることは十分に認知されている。
・つまり、市内のこどもは、「出雲の自然・歴史・文化資源は、観光客にオススメできる価値があること」は知っているが、「自分自身が今体験したい場所」とは思っていない。これは、「身近すぎるため、自分ごととして認識していない」状態の典型例であると言える。
・事後アンケートにおいて、市内のこどもが「楽しかった」と回答した割合が、出雲大社 80%、日御碕灯台 95%、トキ分散飼育センター見学 85%、太鼓・神楽体験 80%、大社湾クルージング 95%に到達したことは、実体験を通じた「自分ごととしての再

発見」が起こったためであると考えられる。

② 自然体験の機会が少ない首都圏のこどもは、出雲の自然・歴史・文化資源に触れることが、出雲への興味・関心を育み、将来的な関係人口の素地となりうる。

・事前アンケートにおいて、市外のこどもにおける出雲の認知度は「聞いたことがあるような…？」60%、「知らない！これから知りに行きます」40%、「行ったことがある」0%となっており。出発時点で出雲は「ほぼ未知の土地」であった。
・それが事後アンケートでは、「出雲への興味がわいた」100%（とても興味がわいた66.7%＋少し興味がわいた33.3%）、「出雲にまたきてみたい」100%（また ぜひきたい72.2%＋きてもいい27.8%）と、全ての参加者において出雲への興味が喚起されるとともに、再訪の意向が示されている。
・事後アンケートの自由記述においても、「ばけばけを見ていたので出雲に行きたいと思っていました」、「歴史が知れて楽しかった」、「神話の出雲がすごい場所だと分かった」など、ストーリー性のある自然・歴史・文化資源への理解がみられる。これは、単に観光資源を訪れるだけではなく、ガイドや解説（出雲大社かたりべガイドの会、ボランティア解説、日本遺産「日が沈む聖地出雲」の説明など）を組み込んだプログラムの成果であると言える。

③ 市内・市外のこどもが一緒に共通の体験をすることで、市内のこどもは他者の視点を介して地元の魅力を再発見することができる。

・事後アンケートの自由記述によると、「木綿街道が家の近くなのに知らなくてすごく楽しかった。またあのあとすぐに家族で行きました」、「日御碕灯台が日本一の高さだと知って、出雲がもっと好きになった」、「出雲のことを知らなかった首都圏の友だちが喜んでいるのを見て、私も自慢に思った」など、「市外のこどもと一緒に体験をすることで、出雲の魅力を再発見することができた」という趣旨の市内のこどもの感想が複数みられる。